

## 施策評価調書

### 1 施策の概要

(1)	施策名	非核平和への貢献					
(2)	総合計画の体系	第	01	章	すべての人がいきいき輝くまちづくり		
		第	01	節	非核、平和のまちづくり		
		第	10	細節	非核平和への貢献		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		14,062	13,863	14,750	
		従事職員数		1.30 人	1.30 人	1.40 人	
		所要人件費(B)		10,451	10,270	11,274	
		総事業費(A+B)		24,513	24,133	26,024	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	173	114	0
				その他	106	0	44
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	24,234			24,019	25,980		

### 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	平和祈念資料館企画展来館者へのアンケート集計結果	目標値 (単位:%)	100.00	100.00	100.00
		実績値 (単位:%)	88.46	85.95	/
目標値の積算方法	企画展アンケートのうち、内容に関する設問で、「よかった」の割合	達成度(%)	88.5	86.0	/
指標内容	実物資料貸出しによる利用人数	目標値 (単位:人)	0.00	16,754.00	40,957.00
		実績値 (単位:人)	16,754.00	40,957.00	/
目標値の積算方法	前年度実績	達成度(%)	0.0	244.5	/

### 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

第二次世界大戦後70年が経過し、日本国内では戦争を体験した人々が少なくなる一方、世界では未だ国家間や民族間の紛争、また様々な要因によるテロ活動などが絶えない状況にある。  
 このような中、戦争や争いの悲惨さや平和の尊さを市民に、また後世に伝えていくことを課題として施策を進めている。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	平和祈念資料館企画管理運営事業	人権平和室	00154	全部	大	16	18	18	20	18	90	継続
2	市民平和のつどい事業	人権平和室	00152	一部	大	16	18	18	20	18	90	継続
3	非核平和都市宣言啓発事業	人権平和室	00153	全部	大	16	18	14	20	16	84	継続
4	非核平和都市宣言記念事業	人権平和室	01281	全部	大	16	18	16	16	18	84	継続
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		<p>評価点数の合計と市民の参加しやすい事業であるかを視点とした。          なお、非核平和都市宣言記念事業(平和大使派遣事業)は5年に一度の周年事業。前回実施は平成25年度。</p>										